

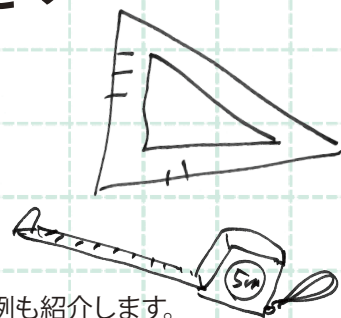
子ども環境ラボ vol.9

子どもの発達から見る遊び環境

～すべての子どものための遊び場をめざすために～

子どもの成育環境についての学びと交流の場、「子ども環境ラボ」vol.9を開催します。第9回は、遊具メーカー「株式会社アネビー」の齋藤弘司氏に、作業療法士と連携して取り組んでいる、「発達」を意識した遊び環境作りをテーマにお話しいたできます。

日本でも話題になりつつあるインクルーシブな遊び場について、先進のヨーロッパの事例も紹介します。設計者だけでなく、保育士さん、保育園の事業者の方、子どもの成育環境に関わっている方もぜひご参加ください。



講師 株式会社アネビー 齋藤弘司氏

株式会社アネビー
第3営業部発達支援コンサルタント



大学で社会福祉を学び、国立総合児童センター「こどもの城」で17年間勤務。閉館後、学童保育指導員/保育士を経て、幼児教育環境作りに携わりたい思いで株式会社アネビーに入社。現在は、発達障がい児にむけた遊び環境を、専門施設はもちろん、幼稚園/保育園/認定こども園に提案している。



「バンダバーグボタニック植物園の遊び場」
オーストラリアのベストプレイスペースを受賞したHAGS社のインクルーシブ公園

2020年 10月20日(火)

19:00～20:30

終了後に30分ほどのZoom懇親会を予定しています。

Zoomオンライン配信のみ

質問コーナーあり・お申込後にアクセス方法を送付します。
終了後に申込者全員に期間限定で動画配信予定です。

【参加費】 1,000円 (学生 無料)

【事前申込・お支払】

下記サイトより事前申し込みください。(定員40名)

<https://enpower-event20201020.peatix.com>

※サイトより申込できない場合は
下記お問合せ先へメールにてお申込みください。

【主催】 一般社団法人 園Power
<http://www.en-power.org/>
【お問合せ】 enpower.org@gmail.com
【協力】 合同会社 MichiLab



「発達の気になる子のためのプレイルーム」
小さなスペースで、さまざまな「動き」ができるようにレイアウトしている

【次回予告】

12月8日(火)

(仮題) 北欧の事例から学ぶ保育環境
垣野 義典 氏